

組合代表者 會議報告

十月二十一日午後八時より
豊平沖元 大村策本部

出席者

木産 — 小林天満・道彦・潤合 — 望月 松田 華枝工 — 橋爪
青八 — 高橋 金馬 — 伊藤 林蔵 — 相馬 定次 青木常五 堀正金 — 阿部

報告

沖元大争議経過

翌月

協談事項

一 大衆動員 (二十四日夜) の件

二十四日夜は連合会町に大衆動員をなし市街戦実行の事、大衆動員の動員、

城東登城、大衆動員を敵陣の動員等全力的策中の大衆動員に依るべく敢行

二

一時向心ネスト並ニ職場大争議開催の件

(一) 向心ネストの意義 (パンフレット) 作製し全組合員に配布

(二) 準備指合を一回出す事

(三) 敢行指合を出すと同様に即時実行にうつる事

(東條の印を必ず押した指合をなくしてはならぬ)

全組合員協同盟

東条他方聯合會

労務第三九三六號

昭和五年十月三十一日

善視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙蔵 股

社 會 局長 官 股

各 社 長 友 股

私印 蓋 印 有 効 印 有 効 印 有 効

洋文又漢字之揚巻係争議之關スル件 (第廿七報) 十月三十一日

要旨

(一) 全社協同盟在工二十七日限り迄之整理第一場二場三場の八割迄之整理
(二) 多額貸付の二十日長控百億購入。セテラ十割を計二分留セシメテ其三

標記労働争議前報後、状況左記ノ通り有之及申(通)ノ報候也

記

一 會社側

(一) 會社ハ「解雇」ニケル方ハ二十七日限り迄之整理第一場二場三場の八割迄之整理